

ゼロトラスト時代の ネットワーク最適投資の進め方

～現場の生産性を上げる安全なICT基盤とは～



「いつでも、どこでも、だれとでも」働く時代に

新型コロナウイルスの感染拡大により、企業はテレワークにむけて大きく舵をきり始めました。

2021年5月時点の内閣府の調査では2019年12月から約3倍にあたる30.8%の企業がテレワークを導入しています。

テレワークを導入する際に課題となるのはセキュリティ面です。

総務省の調査によると実に43.1%の企業がテレワーク導入に当たっての課題としてあげています。

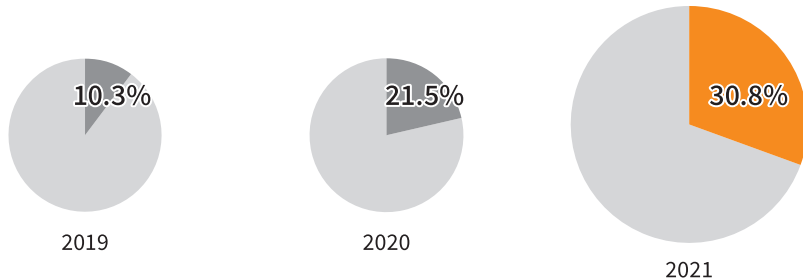
働く環境が大きく変化する中で、今までの保守的なオンプレミスの環境下ではテレワークの柔軟な運用が難しくなります。

「いつでも、どこでも、だれとでも」働ける環境の実現のために
クラウドネイティブな社内システムの構築が急速に求められています。



2021年の全国のテレワーク率(2019年比)

約 **3** 倍



引用元 第3回 新型コロナウイルス感染症の影響下における生活意識・行動の変化に関する調査
https://www5.cao.go.jp/keizai2/wellbeing/covid/pdf/result3_covid.pdf

テレワーク導入時にセキュリティを課題にあげた企業

43.1%



引用元 テレワークセキュリティに関する1次調査
https://www.soumu.go.jp/main_content/000711712.pdf

ネットワークの考え方の大きな変化(境界型からゼロトラスト型へ)

働き方を変化させるためにDXを推進する中で、システム担当者が抱えるジレンマは利便性とセキュリティの両立です。クラウド化によって社内外どこからでもファイルにアクセスできる利便性は、裏を返せばどこからでも悪意のある攻撃をうけるセキュリティリスクも高めます。この相反するニーズを満たす解決策が「**ゼロトラスト型ネットワーク**」への移行です。

ゼロトラスト型ネットワークとは

社内外でネットワークを切り分けるのではなく、社内も安全ではないという視点からネットワーク全体を信頼できないもの(ゼロトラスト)としてあらゆるトラフィックを記録し、対策を講じたネットワークです。社内外からいつでもどこでも重要な情報にアクセスする現代のビジネスに最適なネットワーク構成となっています。



今までと性質が全く異なるネットワークの構築が必要となるため、ゼロトラスト型ネットワークを導入するには、既存のネットワーク構成をきちんと把握し、ネットワークの全体最適化を意識する必要があります。この視点が欠けてしまうと、せっかくのネットワーク投資が無駄になってしまいます。

よくあるネットワーク投資の失敗

安全性を考えて閉域網を導入したけど、ゼロトラスト型にするならインターネットVPNの方が便利だったかも...



閉域網にトラフィックが集中して、容量の大きいファイルのやりとりに時間がかかってしまう...

セキュアなフルクラウド環境が もたらす新たな価値

安全性が保たれたクラウド環境では社員のワークスタイルを変えるだけでなく、サーバーの維持管理といった金銭的・人的コストを軽減し、企業のビジネスに多くの価値をもたらします。



01

場所を選ばず ビジネスが可能



自宅、職場、カフェ
どんな場所でも
社内の情報に
アクセスでき、
仕事を進められます

03

運用負荷の軽減



情報システム部門の
担当者が行う
サーバーなどの
維持管理業務を
軽減できます

05

インフラコストの 軽減



クラウドは
維持管理費が安く、
柔軟な機能の
追加・削除が可能なので、
コストがかかる
ITインフラへの
投資を削減できます

ゼロトラスト型
ネットワークなら
社内外どこから
アクセスしても万全の
セキュリティで
安心です

どの環境でも 安心のセキュリティ



社員同士の業務が
どの場所でも
クラウド上で完結し、
ビジネスのスピードが
加速します

シームレスな協働で 作業効率化



02

04

クラウド化で直面する多様な課題とニーズ



いきなりフルクラウド化を進めても、インターネット接続環境から社内外のコンプライアンス対応に至るまで、幅広い課題に直面します。自社だけで多くの課題、ニーズを拾いながらクラウド化を進めるのは至難の業です。

1 安全・安定・広帯域インターネット接続環境

- テレビ会議やファイル共有などで使われる大容量データを安全に、安定的、快適ににやりとりできるようにしたい。



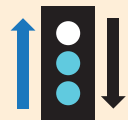
2 WAN接続に関して

- クラウド・本社・支社支店とのネットワークに関して、現状構成を踏まえ、インターネットVPN、閉域網いずれを使うべきか迷う。
- 回線帯域増強、ルータ等ネットワーク機器の性能向上によりボトルネックをなくしたい。
- WAN全体の監視、障害時の復旧迅速化を図り耐障害性を確保したい。



3 リモートアクセス増加への対応

- アクセスが集中し、接続帯域が不足し接続が不安定になる。
- ID連携、多要素認証、デバイス認証を統合して管理したい。
- VPNクライアントソフトウェアのバージョン管理。



4 オンプレからクラウドへの移行

- 戦略定義・計画・採用・統制管理等、綿密な移行計画の策定に関するスキルが不足している。



5 エンドポイント管理

- 持ち出し可能なFAT PCへのセキュリティ対策。
- クラウド仮想デスクトップを活用したシンクライアント環境の構築。



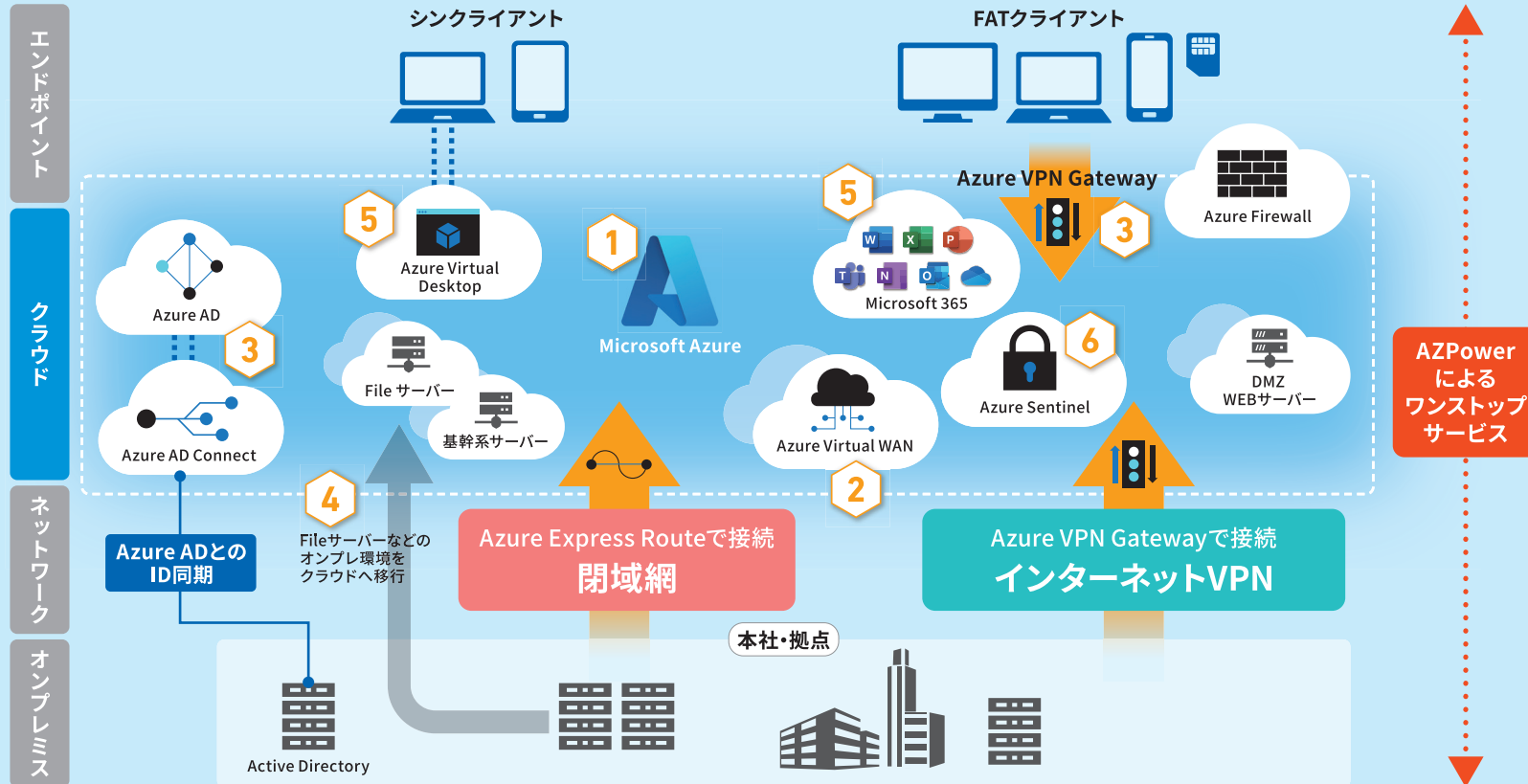
6 コンプライアンス対応

- セキュリティインシデントを未然に防ぎたい。
- インシデント発生時に株主などステークホルダーへの説明責任をどう果たすか。



クラウド時代のネットワーク全体最適 「フルクラウドオフィスリファレンス」

あらゆるクラウド化へのニーズを満たすトータルソリューション。閉域網、インターネットVPNどちらにも対応できます。



全体最適化された ネットワーク投資へ

インターネット接続環境からコンプライアンス対応といった幅広い課題を解決するために、AZPowerでは「フルクラウドオフィスリファレンス」というクラウド化へのトータルソリューションをご提供しています。

綿密なアセスメントを経て、お客様のオンプレミスの状況に合わせた最適なクラウド環境構築を可能にします。

たとえ、社内のインターネット接続が閉域網でもMicrosoft Azureソリューションを駆使し、全体最適化されたクラウドシステムを利用できます。

インターネット接続環境からクラウドシステムの導入、コンプライアンス認証の取得にいたるまでワンストップサービスとなっているので、全体最適化を目指したネットワーク投資が可能になります。

**AZPower
による
ワンストップ
サービス**

ご提案するベストプラクティス

1 安全・安定・広域帯インターネット接続環境

ネットワーク管理のための各種ハードウェアやソフトウェアの煩わしい管理から解放されます。
パッチあて忘れといった管理漏れの心配や、マルチベンダーによる問題のたらい回しありません。



- ✔ オンプレに置くFirewallやUTM装置、VPN GatewayをすべてAzure側もしくはキャリア網内に移行します。
- ✔ インターネットの出口とFirewallは、Azure Firewall を使用します。



2 WAN接続に関して

拠点間で安定したパフォーマンスと耐障害性（ビジネス継続性）を実現。マネージドサービスにより外部ネットワークとの安定運用にかかる工数を削減できます。



- ✔ クラウドと本社や支社支店の拠点間接続については、広帯域化、耐障害性、高性能ネットワーク機器を考慮し、冗長化構成をご提案します。
- ✔ ルーターの設置、レンタル、保守、監視といったマネージドサービスをご提供し、最終的には、お客様オフィスにはこのルーターのみが設置された状態をご提案します。



ご提案するベストプラクティス

3 リモートアクセス増加への対応

リモートアクセス手段を社内で標準化。
急なアクセス増にもクラウドであれば
柔軟に対応できます。



社外のPCやスマホ、タブレット端末からは、
Azure VPN Gatewayへの接続をご提案します。



多要素認証といった企業からのニーズが多いセキュリティー要件は、
Azure ADを活用したID認証をご提案します。

4 オンプレからクラウドへの移行

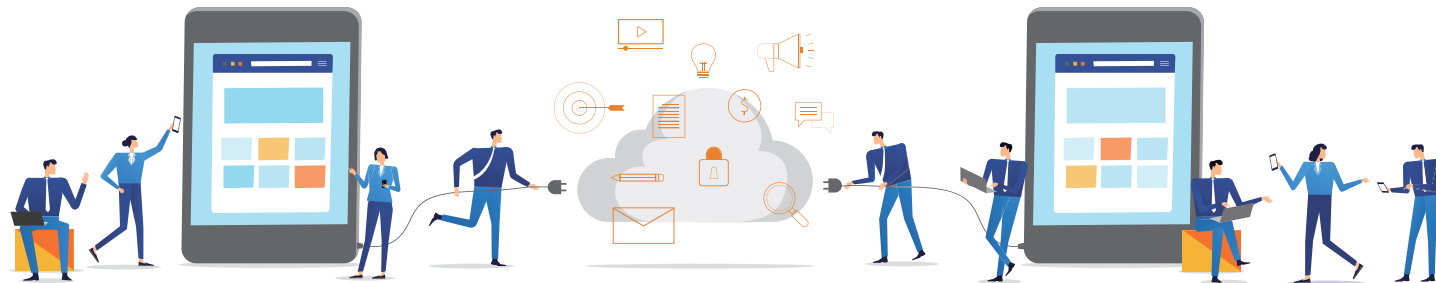
自社のネットワーク環境に合わせた移行ができます。
クラウド移行の豊富な実績をもとに、
つまづきやすいポイントも事前に対応可能。



インターネットVPN・閉域網それぞれに対応した
ベストプラクティスをご用意します。



マイクロソフト社のCAFに基づいた導入プロセスをご提案します。
Microsoft Azure のスペシャリストがスムーズな移行をサポートします。



ご提案するベストプラクティス

5 エンドポイント管理



「ゼロトラストネットワーク」を実現。
即座にマルウェアを検知し、
復旧までの時間も短縮できます。



- ✓ HDDの暗号化統制、Microsoft Intuneによるデバイスのロック&ワイプ、条件付きアクセスといった、デバイスマネージメント、多要素認証、Azure Information Protectionによるファイル暗号化統制、EDRを活用したふるまい検知通報サービスなどをMicrosoft 365、Microsoft Enterprise Mobility + Security (EMS)でご提案します。

- ✓ 500以上の仮想マシン、2000以上のユーザーのAzure Virtual Desktop構築案件を手掛けた実績があり、AVDの導入に自信があります。



6 コンプライアンス対応

ビジネスでの実績が多いマイクロソフトテクノロジー。
Microsoft Azure は多くの第3者機関から
認証されておりコンプライアンス対応も安心です。



- ✓ クラウド内、オンプレ内、ネットワーク機器すべてのデバイス、アプリケーションに関するイベント情報を収集し、人工知能を使用して疑わしいアクティビティを検索することができるAzure Sentinelが、企業のセキュリティに対する懸念を低減します。

- ✓ ISMSや金融機関でいうとFISCなど、世界の主要なコンプライアンス認証を受けているMicrosoft Azureを活用することで、オンプレミス時のコンプライアンス認証取得に毎年、膨大な手間をかけてきたことから解放します。



フルクラウドオフィスリファレンスによるDXへの第1歩

AZPowerでは急なクラウド化に不安を抱えるお客様のために、伴走型のクラウド移行型サービス“**フルクラウドオフィスリファレンス**”を提供しております。クラウドの導入に最適なIT環境をお客様に合わせてトータルデザインし、Microsoft Azure とMicrosoft 365をベースとしてシステム構築を提供するパッケージプランです。いきなりすべてのシステムをクラウド化するのではなく、既存のオンプレミス(境界型ネットワーク)を活用しながら1歩1歩確実にクラウド化を進めていきます。システムの性質上、オンプレミスで守らなければならないものに関しては、「ハイセキュアゾーン」を定義し、より安全に管理できるようにシステムを構築します。全体をデザインしてから個々の移行に移るため、**無駄のない全体最適化されたネットワーク投資が可能です**。最終的にゼロトラスト型ネットワークへの移行を目指します。

オーダーメイドのクラウド環境を実現

境界型ネットワーク

オンプレ



ハイブリッド型ネットワーク

オンプレ&クラウド



ゼロトラスト型ネットワーク

フルクラウド



フルクラウドオフィスリファレンス

クラウド化への道筋



AZPower ではマイクロソフト社の Microsoft Cloud Adoption Framework for Azure (CAF) に準拠し、綿密なアセスメントを経てクラウドの導入を支援いたします。社内のすべてのシステムをクラウドにするのではなく、セキュリティの関係上、オンプレミスに置かなければならないものはオンプレミスで管理するハイブリッドの運用も視野にいられています。AZPower は、マイクロソフト社のGoldコンピテンシーパートナーの中で日本国内初の「Advanced Specialization」を取得しました。深い専門知識と経験に基づいた最高レベルのサービスとサポートをご提供できます。



<http://aka.ms/caf>

AZPower について



【あるあるで知る】インテグレーターに求められるもの

お客様の声



- ✓ 各論での提案に...
- ✓ 部分的な最適化だな...
- ✓ 全体を最適化した
ベストプラクティスが欲しいのに...

Nler

オンプレFW・VPN・UTMを
売りたいクラウドとの
ルーティングは??

Sler

不慣れなクラウド提案
オンプレ売りたい...自社IDC売りたい...
ID管理??

Carrier WAN

クラウドに適した
ネットワークとは?
帯域・冗長・迂回は??



- ✓ クラウド活用のトータル的な**ベストプラクティス**をご提示!
- ✓ 全ての提案がオールインワンで全体最適化ができる!
- ✓ 全体最適化へ向けて段階的にクラウド化も可能!



アライアンス

通信キャリア

オンプレには何も置かない
思い切った、潔い提案
「フルクラウド
オフィスリファレンス」

クラウド導入に際し、既存Slerから当社を選定いただいたあるお客様の声

ポイント	既存オンプレSler	当社に対する評価
Microsoft Azure、Microsoft 365に関する知見	Microsoft Azure、Microsoft 365に関する知見が少ない	Microsoft Azure、Microsoft 365専門店としての技術力を評価
見積もりスピード	1つの見積もり依頼に2か月かかる 縦割りで部署、グループ間の連携に時間を要する	翌日に大枠の提案が出てくるスピード感 組織役職を廃したフルフラット組織のスピード感
NI、クラウド、WANワンストップ提案	WAN、ルーティング含めた提案が出てこない	クラウドに最適化したNI、CI、WANをワンストップ提案
ID管理	Active Directory、Azure ADに精通したエンジニアがない	Active Directory、Azure ADに精通したエンジニアをそろえている
提案	言われた提案はできるが、提案型の構成が提示されない	最新クラウドテクノロジーを活用したフルクラウドオフィスリファレンスを提案
構築費用例	1億円	3,000万円

Azure・Microsoft365 の専門店としてお客様に選ばれる理由



相談から運用まで一気通貫のサービス

相談

構築

運用支援

コンサルティング支援サービス

クラウド商談のご支援やご利用される情報システム部門様による導入支援をコンサルタントによるQAサービスや技術情報の提供に加えて、アセスメント、ワークショップの開催、POC、運用支援、最適化サービスなど要望に応じて実施します。

相談

構築

運用支援

Azure構築パッケージ

お客様のニーズが多い Azure活用シナリオをお求めやすい価格でパッケージ化。「ファイルサーバー (IaaS) 構築Pack」、「WSUSサーバー (IaaS) 構築Pack」などお客様のクラウド活用を強力にバックアップします。

相談

構築

運用支援

マネージド・よろず相談サービス

Azure Monitor/Log Analytics/Application Insightsなどを活用した 24/365 自動監視を行い障害時の復旧作業を行います。クラウドとネットワークを一気通貫でマネージドすることにより、障害対応時間の短縮を実現します。またよろず相談サービスによりAzure利用中の困った!を解決する、インシデント相談サービスにてご提供致します。

他にも幅広いニーズにお応えできます

ID管理

クラウド商談のご支援やご利用される情報システム部門様による導入支援をコンサルタントによるQAサービスや技術情報の提供に加えて、アセスメント、ワークショップの開催、POC、運用支援、最適化サービスなど要望に応じて実施します。

ネットワーク

お客様事業拠点と Azureとの接続、クラウド側からのインターネット接続環境の構築など、クラウド活用においてネットワークは非常に重要な要素となります。当社のネットワークパッケージサービスを経験豊富なエンジニアがご提案。クラウドとネットワークをワンストップでご提供いたします。

Azure Virtual Desktop導入

Azure Virtual Desktopは導入後の運用が重要です。運用次第で70%のコスト減を実現するノウハウを持つAZPowerに導入支援から運用までおまかせください。AVDをお試しで利用できるスタータープランもご用意しています。

PaaSを活用したスピード開発

AzureはPaaS(Platform as a Service)が充実しています。PaaSは、ITインフラの構築や運用保守が不要というだけでなく、提供されている様々なツールを組み合わせることで、競合他社との差別化につながるアプリケーションを短期間に安価に開発できます。Azureを熟知した当社の開発者が、PaaS上でのスピード開発を実現します。

IoTプラットフォーム

Azure PaaSを活用したIoT プラットフォーム「Power IoT Platform」によりセンサーデバイスを短期間にクラウド接続させ、センサー情報を BIツールで可視化できます。デバイス管理機能による M2M環境の実現など様々なニーズにお応えします。

LMS

Azure PaaSを活用した、いま「最も使いやすい」クラウド型LMS「PowerSKILL」。企業内研修の課題をオールインワンで解決します。

クラウド活用を見据えたネットワーク相談サービス

テレワーク環境の整備を急速に求められるなかで、クラウドのまわりのネットワーク構成に悩まれている方が多くいらっしゃいます。焦ってクラウドを導入しても既存のネットワーク構成が大きな足かせとなり、せっかく導入したクラウドを有効活用できてないこともしばしば……。AZPowerではネットワークのお悩みを抱えているお客様に**無料で**ネットワーク構成のご相談を承っております。お客様の環境に合わせたクラウド活用に最適なネットワーク構成をご提案いたします。

こちらからいつでもご相談ください



パートナーシップ
について

AZPowerはマイクロソフト社の「Advanced Specialization」を 日本ではじめて取得しました

Microsoft
Partner



Gold Application Integration
Gold Application Development
Gold Cloud Platform
Gold Datacenter
Gold Cloud Productivity

AZPowerはマイクロソフト社より5分野のGoldコンピテンシーパートナーとして認証されており、さらにGold コンピテンシー パートナーの中でも、より深い専門知識や経験を持ち、お客さまへ最高水準のサービスとサポートを提供できるパートナーである**Advanced Specialization**を日本ではじめて取得しました。AZPower は認証を受けられる12分野のうち「**Microsoft Azure への Windows Server と SQL Server の移行**」と「**Web アプリケーションの Microsoft Azure への最新化**」の2分野でAdvanced Specializationを取得しています。

QUALIFIED

Azureにおける
インフラ分野での
高度な専門性



Microsoft Azure への
Windows Server と SQL Server の移行

QUALIFIED

Azureにおける
アプリケーション
開発分野での
高度な専門性



Web アプリケーションの
Microsoft Azure への最新化

インフラ構築からアプリケーション開発まで最高クラスのサービスを**ワンストップ**でご提供できます



Access 〒101-0041 東京都千代田区神田須田町1-14-1 ヒューリック神田須田町ビル 2F
Mail inside@azpower.co.jp